

### 稲沢ロータリークラブ週報

承認日: 昭和 38 年(1963 年) 12 月 6 日会長: 西村郁夫/副会長: 樋田克史 例会日:毎週水曜日12:30~13:30 幹事:酒井兼利/幹事代理:永井伸治

編集:広報会報委員会

例会場:尾張大國霊神社(国府宮) E-mail roinazawa@gmail.com 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL http://www.inazawa-rc.org/

事務所:〒492-8213 稲沢市高御堂 1-2-1 (林商事ビル1階)

電 話:0587-24-0740 FAX:0587-22-7213 事務局携帯電話 090-4853-5262



2014-2015R I 会長 ケイリー C. K. ホァン

稲沢 RC2014~2015 年度会長方針

「輝いて未来に継ごう」

本日の例会プログラム 第 2492 回例会 10 月 15 日 (水)

例会場:尾張大國霊神社 AED 寄贈式

第1回役員選考指名委員会(13:30)

担当:社会奉仕委員会 IAC 例会 (17:00)

#### <u>第 2491 回例会報告 10 月 8 日(水) 晴れ No.14</u>

☆点	鐘 ☆	会長 西村郁夫
☆司	会 ☆	会場委員会委員長 鵜飼博信
☆ 唱	和☆	我らの生業
☆ビジ	ター☆	足立誠君(一宮 RC)
☆会長:	挨拶☆	会長 西村郁夫



皆様こんにちは。今日はまずこのお 話をしないといけないと思います。す ばらしいビッグニュースです。日本人3名 の方がノーベル物理学賞を受賞致しまし た。その中のお二人が地元名古屋大 学、名城大学の方だそうです。私達も 大変うれしく誇りに思うニュースでござ

います。誠におめでとうございました。受賞の理由 については、光の三原色の内青色は明るい色を出す のが難しいと言われており、20世紀中には困難だと 言われていました。それが明るい青色が成功し光の 三原色でどんな色でも可能になり、未来は LED でよ り明るくなる事と思います。スウェーデンのアカデミーがコメント を出しました。『白熱電球は20世紀を明るく照らし た。21 世紀は LED によって照らされる時代になるだ ろう』と。今後も色々な分野で日本人の活躍を大い に期待したいと思います。

それから、お月見のお話です。一昨日は旧暦の13夜、 9月の15夜に続き2度目。3度目は171年ぶりだそう です。3回目の13夜が来月11月5日にあり、大変め ずらしい年でございます。それにくわえ、今日は皆既 月食でございまして満月が地球の影にすっぽりと入 り完全に影におおわれる現象であります。今日の夜 7:25から1時間が見ごろでございます。青色LEDも 結構ですが、自然の色のブルームーンもいかがでしょうか。 ぜひ今宵の月を鑑賞して頂きたいと思います。

最後になりましたが、ハシエンようこそ又、今日はグェ ンハイヴァンさん卓話でございますが、後ほどベトナムや日本 の事など興味深い話などある事と思います、ご清聴よ ろしくお願い致します。



#### ★出席報告★ 報告者:会員組織委員長 樋田文裕

会	員 総	数	55	名		前々	回值	逐正	9 月	24	日
出		席	39	名		出		席	32	名	
会	員	数	(内免除者	11	名)	会	員	数	(内免除者	8	名)
欠席者数		*~	16	名		メークアッフ゜数		数数	O	名	
人	/市 1日	奴	(内免除者	5	名)	メークナック 毅		奴	9	<b>4</b> 1	
出	席	率	78.00	%	)	修』	三出盾	[李	87. 23	%	)

#### ☆例会臨時変更通知☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	メークアップ会場
尾 西	12/8(月)12:30	尾西信用金庫
名古屋東	12/8(月)12:30	ウェスティンナコ゛ヤキャッスル
一宮中央	12/10(水)	受付なし
一宮	12/11(木)12:30	一宮商工会議所

今週のメークアップ

鵜飼博信、渡邉京子 (B.D) 池田邦雄(名古屋東)、樋田克史(名古屋東南)、 永井伸治、鵜飼正巳、三根健一(D2760)、岡田義夫、大崎直文(IAC)

#### ☆例会日程☆

10月19日(日)	10月22日(水)	10月29日(水)12:30	11月3日(月)15:00
秋の家族会 〜萬亀楼のお食事と京文化を 楽しむ〜 稲沢市役所 8:00 祖父江支所 8:25	例会日変更(19 日に振替)	卓話: NPO 法人 マライカの翼プロジェクト 理事長 吉田 文亮様 デーマ「日本の古米を贈るより新米の作り方を教える」 紹介者: 職業奉仕委員長 原武史	ワールト、フート、ふれ愛フェスタ シ、ャハ。ンロータリーデー 例会 15:00~16:00 TV 塔北 懇親会 18:00 より

# ~ Today's Information~ ◆ ◆ 報告事項 ◆ ◆◇◇幹事報告◇◇報告者:幹事代理永井伸治

- ◆10/16(木) 西尾張分区合同ゴルフ競技会の最新スタート表を配布しました。
- ◆11 月例会場変更の案内
- 11月19日(水)12:30名古屋文理大学文化フォーラム (稲沢市民会館)三階研修室

卓話: 青少年奉仕委員会担当

11月26日(水)12:30稲沢勤労福祉会館三階第4会議室 卓話:RI2760地区ポリオプラス副委員長 佐々木久直様

担当: R 財団委員会

# ◇ ◇ ニ コ ボ ッ ク ス 報 告 ◇ ◇報告者:ニコボックス委員長 眞下啓二

**西村** グエン・ハイ ヴァンさん卓話よろしく。伊藤さん写真ありがとう

永井 米山記念奨学生 グェン・ハイ ヴァン君を招き、卓話をして頂く喜び

伊藤(彰) グエン・ハイ ヴァン君をスピーカーに迎えた喜び

山脇 伊藤さん変な処で変な時間にバッタリ

成田 彰さん、写真ありがとう

池田、山脇、後藤 写真を頂いて

加藤(耐) 出席表彰を頂いて

吉川 例会早退のお詫び

加藤(耐) 例会欠席のお詫び 息子夫婦と一 週間楽しい旅行をしてきました

**樋田(ヒダ)** 地区ゴルフコンペ欠席します

樋田(ヒダ) 例会欠席のお詫び

#### ◇卓話:米山記念奨学会

### 奨学生:グエン ハイ ヴァン君◇ テーマ「私は留学生として日本について感じたこと」



日本への留学手続きが完了する頃、東日本大震災が起き、母も大変心配していました。しかし、私にとって日本へ留学するということは、子どもの頃、ドラえもんの世界に夢中になり、「MADE IN JAPAN」の高品質な製品に触れ、サムライの精神に興味を持った時から、日本でしか勉強できないことがあり、日本に行

かないと意味がないものでした。また、日本語の「改善」が英単語の「improvement」に訳されず「kaizen」という言葉のまま使われていることも興味深く、日本のモノ作りは一体どんなシステムなのか現地で経験しないと分からないと感じていました。私の強い意志を知り、両親は反対しませんでした。

震災の二ヶ月後に日本に到着した私は、日本の学校とアルバイトの両方でさまざまな経験をし、日本への理解を深めました。最初のアルバイト先はお寿司屋さんでした。洗い場から始まり、みそ汁、揚げ物、天ぷら、デザート、だし巻き、茶碗蒸しなどいろいろな日本料理の作り方を学ぶと共に、日本の食文化、仕事に対する工夫の精神を感じていきました。失敗もいろいろしましたが、店長や先輩に優しく、時に厳しく励まされ、失敗した経験の中から改善の方法を模索しました。自分の仕事に責任を持ち、勉強を重

ねた結果、お客様から褒めて頂いたときは、仕事での「improvement」の大切さがわかり、苦労と工夫の違いも実感しました。学校の授業で日本のモノ作りについての勉強と共に、アルバイトでの経験から「改善」と「improvement」という言葉のニュアンスの違いも理解し実感しました。

このように、日本の社会をだんだん理解し楽しんでい ましたが、ガッカリしたこともありました。それは、日 本の友達を作るのがとても難しかったことです。お年寄 りは親切で優しいと感じましたが、若い人たちは冷た く、近寄りにくいと感じました。自分の日本語やコミュ ニケーションが未熟だからなのかといろいろ悩みまし たが、日本語をさらに勉強し、共通の趣味や興味のある ことなどから話しかけ、スポーツや飲み会などを通して 交流しましたが、仲良くなるには時間がかかり、あまり 多くの友達を作ることはできませんでした。他の国から 来ている友人たちも日本の友達を作るのに苦労してい る様子でした。なぜ、日本の若い人たちとコミュニケー ションをとるのが難しいのか。私は国籍や言葉の壁では なく、文化の違いだと感じるようになりました。仲良く なった日本人からは「日本人は表情をあまり出さない、 人見知りや恥ずかしがり屋の人も多い」と聞き、別の友 人からは「家族とのつながりが薄い」とも聞きました。 実家が近いのに二年も帰省していない友人がいたのに はとても驚きました。

東京の五輪招致で話題になった「おもてなし」という言葉は日本の素晴らしい接客の精神だと言われています。日本の漫画やアニメが世界中で愛されているように、日本の若い人たちも、人間的に「おもてなし」の触れ合いが出来るようにすれば、日本の魅力がもっと強くなり、外国からのお客様にも喜んで頂けると思います。今日、世界中で政治の混乱や大きな事件が多数起こっていますが、異文化の理解をさらに深める事がさらに必要ではないかと思います。

近い将来、おもてなしのグローバル時代になることが、国々の若い人たちの役割ではないかと思います。日本の若い人たちと外国人の私たちも人間の繋がりを改善し、異文化の理解を深めていく事ができたら、社会に貢献できるのではないかと思っています。

